

生ゴミ堆肥で循環型農業を実践 (株式会社 水口テクノス)

<法人の概要>

所在地：滋賀県甲賀市

設 立：昭和56年3月

資本金：1,000万円 売上高：120,000万円（平成26年）
（うち農業：4,500万円）

役 員：3名（うち農作業従事1名） 従業員数：90名、うち農業従事者2名

経営面積：1.4ha

営農作物：メロン、トマト、イチゴ、かんぴょう、キャベツ等

農業開始時期：平成22年4月



観光イチゴ園



アンテナショップ

<農業参入に至った経緯・動機>

廃棄物運搬収集業を営んでおり、資源循環型社会の実現とゴミの減量化、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生を抑えることを目的とし、生ゴミ堆肥を活用した農業を行っている。家庭やスーパー、ホテル等から出た生ゴミを分別回収したものを堆肥化し、その堆肥で野菜を生産する、地産地消の循環システムに取り組む。農業参入により会社のイメージアップ効果があり、従業員のモチベーションが上がり、また観光イチゴ園の運営により、地域の活性化にもつながっている。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

水田地帯で畑地を確保することは大変困難であったが、地元の農業者に循環型農業の実現の思いを伝え、やっとの思いで農地を確保をすることができる。借地ということで、店舗や観光イチゴ園のための駐車場とすることへの抵抗があったが、地主と話し合いアンテナショップと駐車場を完備する。作物については、地域にないオンリーワンで観光農園が可能なメロン、イチゴ、トマト等を選定。ハウス建設等には国の「経営体育成支援事業」を活用している。

＜営農開始から現在まで＞

販路については、アンテナショップを完備し地域の方々に供給しているほか、ホームページを活用しネットショッピングを展開、地元企業やゴルフ場などにも営業活動を行い贈答用として活用されている。また観光ガイドにも掲載され、アンテナショップ・観光イチゴ園とも好調である。生産については、地元農産普及課の指導を受けている。自社生産した生ゴミ堆肥は窒素成分が豊富で美味しい野菜栽培に活かされ、コスト削減にもつながっている。また、自社農産物を活用したジェラート等の加工品の開発にも手掛ける。従業員の育成には国の「農の雇用事業」を活用している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

これまでどおり循環型農業を展開するとともに、地元特産のかんぴょう作り体験や観光農園等、体験型の農業を行い地域の方々を取り込んだ農業経営の展開を目指す。

＜今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス＞

オンリーワンの地元密着型で、地元で喜ばれる農業を目指すことで企業として発展し、従業員のモチベーションも上がる。

